FMV

B6FJ-1751-01

FMV-BIBLO MG/D75N, MG/D70N
FMV-BIBLO LOOX R/D70, R/D70N, R/D50N

Windows XPをお使いになる方へ

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

目　次

FUJITSU

はじめに

お客様がお使いのモデルは、OS を Windows Vista Business から Windows XP Professional にダウングレード（移行）することができます。
このマニュアルでは、Windows XP へのダウングレードの手順や、Windows XP をお使いになるうえでの注意点などを説明しています。
Windows XP へダウングレードするときは、このマニュアルをよくお読みになり、正しい手順で行ってください。

Windows XP 用マニュアルのご紹介

このパソコンの Windows XP 用のマニュアルをご紹介します。

■添付の紙マニュアル

『Windows XP をお使いになる方へ』
このマニュアルです。
Windows XP をお使いになるための手順や、留意事項などを記載しています。

■インターネット上で見るマニュアル

以下のマニュアルは、インターネット上でご覧いただけます。

『製品ガイド』
パソコンの基本的な取り扱い方や、セキュリティについての説明、ソフトウェアの紹介などを記載しています。
『内蔵モデムをお使いになる方へ』
内蔵モデムの設定方法や、コマンドについて記載しています。

次のマニュアルは、無線 LAN の設定方法などについて記載しています。お使いのパソコンに該当するものをご覧ください。
『内蔵無線 LAN をお使いになる方へ（IEEE 802.11a/b/g 準拠、IEEE 802.11n ドラフト 2.0 準拠）』
『内蔵無線 LAN をお使いになる方へ（IEEE 802.11b/g 準拠、IEEE 802.11n ドラフト 2.0 準拠）』

インターネット上のマニュアルを見るには

サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「ダウンロード」よりご覧いただけます。

インターネットのサポートページ

インターネットのサポートページで、Windows XP ダウングレードについての情報や、お使いになるうえでの注意事項などをご案内しています。
Windows XP をご利用になる場合は、次のサポートページもあわせてご覧ください。
http://azby.fmworld.net/support/xpdg/

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【Fn】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：【Fn】＋【↑】キーなど

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面は一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面およびファイル名などが異なることがあります。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記		
FMV-BIBLO MG/D75N, MG/D70N FMV-BIBLO LOOX R/D70, R/D70N, R/D50N	パソコン／パソコン本体		
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional	Windows XP	Windows
Windows Vista® Business with Service Pack 1	Windows Vista Business	Windows Vista	
Microsoft® Office Personal 2007	Office Personal 2007		
Microsoft® Office PowerPoint® 2007	Office PowerPoint 2007 または PowerPoint 2007		
Microsoft® Office Personal 2007 with Microsoft® Office PowerPoint® 2007	Office Personal 2007 with PowerPoint 2007		
Microsoft® Internet Explorer®	Internet Explorer		

■お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2009 年 3 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください。

商標および著作権について

Windows XP ダウングレードの流れ

① **Windows Vista のセットアップ（まだ行っていない場合のみ）**

↓

② **必要なデータのバックアップ**

↓

③ **Windows XP 用「リカバリ＆ユーティリティディスク」の実行**

↓

④ **Windows XP のセットアップ**

1. 必ずお読みください

Windows XP ダウングレード後の留意点

Windows XP をお使いいただくときに気をつけていただきたいことを記載しています。

サポートとサービスについて

■サポートについて

Windows XP での動作は、マイクロソフト株式会社のサポート対象外となります。また、添付されているすべてのアプリケーションについて、Windows XP Professional 上での動作保証はしていません。

Windows XP ダウングレードをご利用になる場合は、こちらをご確認ください。

http://azby.fmworld.net/support/xpdg/

■修理について

故障などでパソコンを弊社にて修理した場合、修理の内容によっては修理後に OS がご購入時の状態（Windows Vista）になります。その場合は再度 Windows XP にダウングレードしてお使いください。

■ユーザー登録について

Windows XP のダウングレード前に FMV のユーザー登録が済んでいるお客様は、Windows XP ダウングレード後に新しくユーザー登録する必要はありません。

ユーザー登録がお済みでないお客様は、次の手順で登録してください。

ユーザー登録はインターネット上で行います。インターネットに接続できる環境にしてから操作してください。

1. **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV ユーザー登録」→「FMV ユーザー登録」の順にクリックします。**
   FMV ユーザー登録のページが表示されます。
2. **画面上の説明をお読みになり、「FMV ユーザー登録開始」をクリックします。**
   インターネット上のユーザー登録専用ページが表示されます。
3. **画面上の説明をお読みになり、手続きを行ってください。**

POINT

- ホームページでのユーザー登録がご利用できないお客様は、郵送によるユーザー登録をご利用ください。詳しくは『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

■お問い合わせについて

サポート窓口にお問い合わせの際は、ご利用中の OS 名を窓口にお伝えください。

■Microsoft Office について

Microsoft Office については、マイクロソフト社の製品別サポートページ（http://support.microsoft.com/select/）をご覧ください。

Windows XP での注意事項

■ハードディスクの領域設定について

市販のソフトウェアや Windows XP の「ディスクの管理」機能で、ハードディスク領域の「不明なパーティション」と表示されている部分を削除したり変更したりすると、マイリカバリが正しく動かなかったり、ハードディスクのデータが読めなくなったりすることがあります。

また、その状態でリカバリを実行しようとすると、C ドライブ以外のデータが削除されてしまったり、パソコンが起動しなくなったりすることがあります。

ハードディスク領域で「不明なパーティション」と表示されている部分は、「トラブル解決ナビ」がインストールされている領域です。この領域は絶対に削除しないでください。

ハードディスクの領域を変更するときは、必ず「トラブル解決ナビ」から行ってください。

領域の変更方法は、「ハードディスクの領域を設定する」（→P.13）をご覧ください。

■Windows XP の省電力機能

Windows XP の省電力機能（スタンバイ・休止状態）を使用する際は、ACPI に対応した周辺機器をお使いください。

ACPI モードに対応していない周辺機器をお使いの場合、省電力機能が正しく動作しないことがあります。

省電力機能について詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

■お持ちのソフトウェアについて

お客様がお持ちのソフトウェアについては、Windows XP に対応していることをご確認のうえお使いください。

■「Plugfree Network」について

次の機能は利用できません。

- ●ネットワーク診断機能
- ●パケット抑止オプション機能

■リカバリディスクについて

Windows XPダウングレード後にCドライブをリカバリする場合は、Windows XP用の「リカバリ＆ユーティリティディスク」をお使いください。Windows Vista用の「リカバリディスク」でCドライブをリカバリすることはできません。

リカバリ方法については、「Windows XPのリカバリ」（→P.13）をご覧ください。

OSをWindows Vistaに戻したい場合は、「Windows Vistaに戻す」（→P.14）をご覧ください。

なお、Windows Vistaをお使いの場合にCドライブをリカバリするときは、Windows Vista用のディスクをお使いください。

■アプリケーションディスクについて

Windows XP にダウングレードした後で、添付のソフトウェアをインストールする場合は、Windows XP 用の「アプリケーションディスク」をお使いください。

Windows Vista 用の「アプリケーションディスク」に収録されているソフトウェアは、Windows XP 上での動作が保証されていない場合があります。

■「マイリカバリ」について

「マイリカバリ」で作成したディスクイメージは、作成時と復元時の OS が異なると利用できません。作成時の OS に戻してから復元をしてください。

■「FM かんたんバックアップ」「かんたんバックアップレスキュー」について

各ソフトウェアで作成したバックアップデータは、作成時と復元時の OS が異なると利用できません。作成時の OS に戻してから復元をしてください。

■「診断ツール」について

Windows XP では、「診断ツール（富士通ハードウェア診断ツール）」はご利用になれません。診断プログラムをご利用になる場合は、次の手順で行ってください。

1. **パソコンの電源を入れます。**
2. **FUJITSU ロゴが表示されている間に【Enter】キーを押します。**
3. **【↑】または【↓】キーを押して「診断プログラム」を選びます。**

なお、簡易診断を行ってトラブルが発見されなかった場合、「引き続き詳細な診断を実行します。」と表示されて「トラブル解決ナビ」が起動しますが、お使いになれませんのでそのまま「終了」をクリックして終了してください。

■「FMV サポートナビ」について

「FMV サポートナビ」から「トラブル解決ナビ」を起動することはできません。

また、次の機能は利用できません。

●「FMV 画面で見るマニュアル」ボタン
●「Windows サイドバー」ボタン
●「バックアップことはじめ」ボタン

■ビデオメモリの最大容量が変わります。

ビデオメモリの最大容量はWindows Vista とWindows XP では異なります。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

■次のワンタッチボタンの機能が変わります。

「Zoom ボタン」
Windows Vista :「らくらくズーム」を起動
Windows XP : OS 標準機能の「拡大鏡」を利用

添付ソフトウェアの注意事項

■ソフトウェアが一部異なります

Windows Vista と Windows XP では、このパソコンに用意されているソフトウェアが一部異なります。
Windows XP で用意されているソフトウェアについては、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

■@メニューの制限事項

次の機能は利用できません
●「画面で見るマニュアル」ボタン
●「用語集」ボタン
●「概要を見る」ボタン
●「お問い合わせ先を見る」ボタン

添付のマニュアルについて

このパソコンに添付されているマニュアルのうち、本マニュアル以外はすべて Windows Vista 用です。
また、Windows XP 専用のマニュアルとしては、本マニュアル以外にインターネット上で見るマニュアルがあります。詳しくは「Windows XP 用マニュアルのご紹介」(→ P.2)をご覧ください。

Windows Vista のリカバリディスクについて

このパソコンには、あらかじめ Windows Vista のリカバリ領域を DVD にコピーした Windows Vista の「リカバリディスクセット」が添付されています。
添付のマニュアルに「リカバリディスクセット」の作成を勧める記載がありますが、このパソコンでは添付されているディスクをお使いいただくことができます。

Windows XP ダウングレードの準備

ここでは、Windows XP ダウングレード作業を始める前に、Windows Vista で行う準備作業について説明します。

Windows Vista のセットアップ

このパソコンをご購入後、まだWindows Vistaのセットアップを行っていない場合は、『スタートガイド2　セットアップ編』の「Windowsのセットアップ」と「「必ず実行してください」を実行する」をご覧になり、Windows Vistaのセットアップを行ってください。
Windows Vista のセットアップを行わないと、パソコンの初期設定が正しく実行されません。必ず先に Windows Vista のセットアップを行ってください。

データをバックアップする

Windows XPへダウングレードするときに、ハードディスクの領域が設定し直されます。
このため、CドライブやDドライブのデータなど、ハードディスク内のすべてのデータが消えてしまいます。
Windows XPへダウングレードする前に、必要なデータは必ずCD、DVD、外付けのハードディスクなどにバックアップしてください。
なお、「FM かんたんバックアップ」はWindows XPダウングレード後のデータの復元には対応していません。「FM かんたんバックアップ」は使用せず、個別にファイルをコピーしてバックアップしてください。

Windows XP ダウングレードの実行

準備するもの

● リカバリ＆ユーティリティディスク
Windows XP 用(黄色のラベル)をお使いください。
● アプリケーションディスク
Windows XP 用(黄色のラベル)をお使いください。
●「Office Personal 2007」のパッケージ
(Office Personal 2007 搭載機種のみ)
●「Office PowerPoint 2007」のパッケージ
(Office Personal with PowerPoint 2007 搭載機種のみ)
●CD/DVD ドライブ
CD/DVDドライブが搭載されていないモデルをお使いの場合は、動作確認された外付けの CD/DVD ドライブを用意してください。
動作確認情報は、サポートページ(http://azby.fmworld.net/support/)の「他社周辺機器接続情報」をご覧ください。

Windows XP の「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する

Windows XP用の「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行して、Windows Vista から Windows XP にダウングレードします。

重 要

- 必要なデータはバックアップしてください。
  Windows XP にダウングレードするときに、ハードディスク内のすべてのデータが消えます。必要なデータは必ず CD、DVD、外付けのハードディスクなどにバックアップしてください。

1 パソコンの電源が入っている場合は電源を切ります。

2 AC アダプタを接続し、パソコンの電源を入れます。

3 「FUJITSU」のロゴマークが表示され、画面の下に「マウスをクリックするか、<Enter>を押してください。」と表示されている間に、【Enter】キーを押します。
ポップアップメニューが表示されます。

POINT

- ポップアップメニューが表示されない場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押してパソコンを再起動し、もう一度操作してください。

4 【↑】または【↓】キーを押して「起動メニュー」を選択し、【Enter】キーを押します。
起動メニューが表示されます。

5 Windows XP 用の「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットします。

6 【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。
しばらくすると、「Windows XP の環境に戻します」という画面が表示されます。

7 「続行」をクリックします。
「領域設定を始める前に、必ず以下をよくお読みください」という画面が表示されます。

8 「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「領域設定」の画面が表示されます。

9 C ドライブと D ドライブのサイズを指定して、「実行」をクリックします。
「領域を設定します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

10 「はい」をクリックします。
ハードディスクの領域設定が行われます。

11 リカバリについて説明する画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。
画面の図に「Cドライブのみご購入時の状態に戻ります。Dドライブのデータはそのまま残ります。」と表示されますが、Cドライブにはご購入時のOS（Windows Vista）ではなく、Windows XPがインストールされます。また、Windows XPダウングレード作業時には、領域を設定したためDドライブのデータは削除されています。

12 「リカバリを実行」をクリックします。

13 「更新プログラムの確認」画面で、「アプリケーションディスク」をセットして「OK」をクリックします。

14 「リカバリが完了しました。」というメッセージが表示されたらディスクを取り出し、「OK」をクリックします。
パソコンが再起動します。

続けて Windows XP のセットアップを行います。

Windows XP のセットアップを行う

1 パソコンが再起動し、「Microsoft Windows へようこそ」が表示されるまで、しばらくお待ちください。

2 「次へ」をクリックします。
使用許諾契約が表示されます。
使用許諾契約は、Windows XP をお使いになるうえでの契約を記述したものです。

3 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「コンピュータを保護してください」と表示されます。

POINT

- 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックした後、メッセージに従って操作してください。

4 「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」を選んで、「次へ」をクリックします。
「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。

5 必要に応じて「このコンピュータの名前」と「コンピュータの説明」を入力し、「次へ」をクリックします。
「管理者パスワードを設定してください」と表示されます。

POINT

- 「コンピュータの説明」は省略できます。
  また、コンピュータの名前や説明は、セットアップ終了後にあらためて設定することができます。

6 必要に応じて「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

「このコンピュータをドメインに参加させますか?」と表示されます。

POINT

- 管理者パスワードは後から設定することができます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「パスワード」で検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。
- パスワードでは大文字／小文字が区別されます。
- 「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか ?」と表示された場合は、手順 9 へ進んでください。
- 「設定が完了しました」と表示された場合は、手順 10 へ進んでください。

7 「いいえ ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「インターネット接続を確認しています」と表示されます。しばらくすると、「インターネット接続が選択されませんでした。」と表示されます。

POINT

- 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?」と表示された場合は、手順 9 へ進んでください。

8 「省略」をクリックします。

「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか ?」と表示されます。

9 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「設定が完了しました」と表示されます。

10 「完了」をクリックします。

パソコンが再起動します。

POINT

- 手順6でパスワードを設定した場合はパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し、「→」をクリックします。
- 「Office Personal 2007」搭載機種の方
  Office Personal 2007 をインストールします。
  1. 「Microsoft Office・・・をインストールします」と表示されたら、「Office Personal 2007」のディスクをセットし、「はい」をクリックします。
  2. プロダクトキーを入力する画面が表示されたら「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックします。
  3. 「マイクロソフト　ソフトウェア　ライセンス条項をお読みください」と表示されたら、内容をよく読み「「マイクロソフト　ソフトウェア　ライセンス条項」に同意します」をクリックしてチェックを付け、「次へ」をクリックします。
  4. 「今すぐインストール」をクリックします。
  5. インストール終了のメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックします。
     「Office Personal with PowerPoint 2007」搭載機種の方は、「Office Personal 2007」のインストールに続いて「PowerPoint 2007」をインストールします。表示されるメッセージに従ってインストールしてください。
     インストールの途中で、プロダクトキーの入力が必要になります。「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱されているプロダクトキーの半角英数字を入力してください。
  6. ウィザードの指示に従って、「2007 Microsoft Office system Service Pack 1」をインストールします。
  7. 「パソコンの設定」ウィンドウで「OK」をクリックします。
     この後は、手順 12 に進んでください。

11 デスクトップの「必ず実行してください」をダブルクリックします。

「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

重 要

- 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。

12 「実行する」をクリックします。

しばらくお待ちください。

保証開始日を示した画面が表示されます。

13 「閉じる」をクリックします。

14 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。

もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。

15 「OK」をクリックします。

Windows が再起動します。

POINT

- 手順 6 でパスワードを設定した場合は、そのパスワードを入力し、「→」をクリックします。

これでセットアップが終了しました。

セットアップが終わったら、パソコンを使い始める前に、Windows Updateやセキュリティ対策ソフトの設定などを行ってください。
詳しくは、インターネット上のマニュアル「製品ガイド」の「セキュリティ」をご覧ください。

Windows XP での電源の切り方

注意事項

- 電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。
- 電源を切る際、ノイズが発生することがあります。その場合は、音量を下げてお使いください。
- 液晶ディスプレイは静かに閉じてください。
  閉じるときに液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。

電源の切り方

「スタート」ボタン→「終了オプション」→「電源を切る」の順にクリックします。Windows が終了し、パソコンの電源が切れます。



POINT

- 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。
  1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
  2. Windows を終了します。
     表示されるウィンドウによって手順が異なります。
     - 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示された場合
       「シャットダウン」メニュー→「コンピュータの電源を切る」の順にクリックします。
     - 「Windows のセキュリティ」ウィンドウが表示された場合
       1. 「シャットダウン」をクリックします。
          「Windows のシャットダウン」ウィンドウが表示されます。
       2. 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。

  それでも電源が切れない場合は、パソコン本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して、強制的に電源を切ってください。
- 「コンピュータの電源を切る」の画面で、「再起動」を選択すると、パソコンを再起動することができます。
- 上記の画面で、「スタンバイ」または「休止状態」を選択すると、パソコンが省電力状態になります。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』(PDF)をご覧ください。
- この後、パソコンを長期間使用しない場合は、AC アダプタやバッテリパックを取り外してください。

2. 必要に応じてお読みください

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS セットアップの設定値を、本パソコンご購入時の状態に戻す方法について説明します。

1 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【Enter】キーを押します。

ポップアップメニューが表示されます。



（お使いの機種により画面は異なります）

POINT

- ポップアップメニューが表示されない場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。再起動については、「電源の切り方」（→ P.9）をご覧ください。

2【↓】または【↑】キーを押して「BIOS セットアップ」を選択し、【Enter】キーを押します。

BIOS セットアップが起動します。

3「終了」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行した後、設定を保存して BIOS セットアップを終了します。

重 要

- 「標準設定値を読み込む」を実行しても、管理者用パスワード、ユーザー用パスワード、ハードディスクパスワード、所有者情報の設定は、現在お使いの状態のまま変更されません。

Windows XP が起動できないときにデータをバックアップする（かんたんバックアップレスキュー）

Windows XP が起動できない場合は、Windows XP 用の「リカバリ＆ユーティリティディスク」に入っている「かんたんバックアップレスキュー」を使用して、大切なデータのバックアップを行うことができます。バックアップしたデータは D ドライブに保存されます。

データをバックアップした後、C ドライブをリカバリして Windows XP が起動できるようになったら、「FM かんたんバックアップ」というソフトウェアを使ってバックアップしたデータを復元します。

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐにキーボードの【Enter】キーを押します。

ポップアップメニューが表示されます。

3【↑】または【↓】キーを押して「起動メニュー」を選択し、【Enter】キーを押します。

起動メニューが表示されます。

4「リカバリ＆ユーティリティディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。

「トラブル解決ナビ」が表示されるまでそのまましばらくお待ちください。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりしますが、故障ではありません。

6「トラブル解決ナビ」で「ユーティリティ」タブをクリックします。

7「かんたんバックアップレスキュー」を選んで、「実行」をクリックします。

8「かんたんバックアップレスキューのワンポイント」ウィンドウの内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

9「項目を選択して保存を実行」をクリックします。

10 データを保存したい「ユーザー プロファイル フォルダ」を選んで、「OK」をクリックします。

11「保存する内容」の一覧から、バックアップしたい項目にチェックを付けます。

12「保存データ格納先」が「D:¥PE_BACKUP¥[選択したユーザープロファイルフォルダ]」になっているか確認して「データの保存開始」をクリックします。

13「かんたんバックアップレスキュー－保存開始」ウィンドウで保存項目を確認し、「開始」をクリックします。

データのバックアップが始まります。

14 バックアップが終わったら、「かんたんバックアップレスキュー－保存結果」ウィンドウで「結果」がすべて「正常終了」になっていることを確認し、「閉じる」をクリックします。

15「かんたんバックアップレスキュー」ウィンドウで「終了」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」に戻ります。

これでバックアップは終了です。

バックアップしたデータは、C ドライブをリカバリして Windows XP を起動できるようにした後、「FM かんたんバックアップ」を使って復元してください。

詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

マイリカバリについて

「マイリカバリ」でできること

「マイリカバリ」は、ハードディスク（C ドライブのみ）をまるごとディスクイメージとして保存しておき、必要なときにディスクイメージを保存したときと同じ状態に戻すことのできるソフトウェアです。
「マイリカバリ」を使ったリカバリを行うにはどのような作業が必要か、簡単に説明します。

■ディスクイメージを作成する

「マイリカバリ」では、C ドライブのデータをまるごとディスクイメージとして D ドライブなど C ドライブ以外の他のドライブに保存します。ディスクイメージとは、ハードディスクに格納されたあらゆる情報を 1 つにまとめたファイルです。C ドライブをまるごと D ドライブなどにバックアップしておくようなものと考えれば良いでしょう。

■ディスクイメージを復元する

ディスクイメージを復元すると、C ドライブがディスクイメージを保存したときと同じ状態に戻ります。
ただし、Windows XP の「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを、Windows Vista の「マイリカバリ」を使って復元することはできません。同様に Windows Vista の「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを、Windows XP の「マイリカバリ」を使って復元することはできません。

■こんなときに便利です

万が一、トラブルが発生してパソコンの調子がおかしくなったときに、パソコンの調子が良かったときの状態をそのまま保存したディスクイメージを作っておけば安心です。「マイリカバリ」を使って、簡単な操作でパソコンを調子の良かったときの状態に戻すことができます。
ただし、Windows XP にダウングレードした直後の状態では、ディスクイメージはまだ作成されていません。
セットアップやセキュリティ対策などの設定をひととおり終えた後は、「マイリカバリ」でディスクイメージを作って保存しておきましょう。C ドライブのバックアップとして、定期的にディスクイメージを作成しておくことをお勧めします。

「マイリカバリ」の使い方～ディスクイメージを作成する

いざというときに備えて、C ドライブのディスクイメージを作成しましょう。
ここでは、「マイリカバリ」でディスクイメージを作成する方法を説明します。

■ディスクイメージを作成する

重要

- 市販のソフトウェアや Windows XP の「ディスクの管理」機能などでハードディスクの領域を変更した場合は、ディスクイメージを復元したり、ディスクイメージを D ドライブに作成したりすることができません。
- パソコンに不具合が起こっているときは、ディスクイメージを作成しないでください。
  ディスクイメージを作成すると、パソコンの C ドライブをそのままの状態で保存するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。
- 外付けハードディスクにディスクイメージを保存する場合、USB［ユーエスビー］接続の外付けハードディスクを用意してください。USB 接続以外の接続方式の外付けハードディスクでは、正常に動作しない場合があります。
- 外付けハードディスクをお使いになる場合は、「マイリカバリ」起動後に「ディスクイメージの保存先が外付けハードディスクの場合は、ここで接続してください。」と表示されてから接続してください。
  すでにパソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、必ず取り外してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

1. デスクトップの （マイリカバリ）をクリックします。
   「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。
2. （閉じる）をクリックします。
   「マイリカバリとは」ウィンドウが閉じて、「マイリカバリ」が表示されます。
3. 「つくる」をクリックします。

POINT

- D ドライブの空き容量が不足しているというメッセージが表示された場合は、次の方法で D ドライブの空き容量を増やしてください。
  - ・「マイリカバリ」の「管理」で不要なディスクイメージを削除する

・D ドライブにある不要なファイルを削除する
「マイリカバリ」で作成されるディスクイメージは D ドライブに保存されるため、D ドライブの空き容量が足りない場合に表示されます。

4 コメント入力域に、作成するディスクイメージに付けるコメントを入力し、「次へ」をクリックします。

5「OK」をクリックします。
パソコンが再起動し、「ディスクイメージの作成」という画面が表示されます。

6「D ドライブにつくる」をクリックします。
保存先を D ドライブ以外にしたい場合は、「保存先選択」をクリックして保存先を選びます。
ディスクイメージの作成について説明する画面が表示されます。

7「次へ」をクリックします。
「これからディスクイメージをつくります。」という画面が表示されます。

8「実行」をクリックします。
ディスクイメージの作成が始まります。しばらくお待ちください。
しばらくすると、「ディスクイメージを作成しました。」と表示されます。

9「完了」をクリックします。
Windows が再起動します。

これで、ディスクイメージが D ドライブに作成されました。

「マイリカバリ」の使い方～ディスクイメージを復元する

「マイリカバリ」であらかじめ作成しておいたディスクイメージを、復元する方法を説明します。

重要

- ディスクイメージを復元すると、C ドライブが、ディスクイメージを作成した時点の状態に戻ります。よって、ディスクイメージを作成した後に C ドライブに保存したファイルは、すべて失われます。ディスクイメージを作成した後に保存したデータは、D ドライブ、CD、DVD などにバックアップをしておいてください。
- 外付けハードディスクに保存したディスクイメージを復元する場合、外付けハードディスクは、「マイリカバリ」起動後に「ディスクイメージの保存先が外付けハードディスクの場合は、ここで接続してください。」と表示されてから接続してください。
すでにパソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、必ず取り外してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- Windows Vista の「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを、Windows XP の「マイリカバリ」で復元することはできません。

1 本パソコンを起動します。

2「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【Enter】キーを押します。

3【↓】キーを押して、「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】キーを押します。
「トラブル解決ナビ」が表示されます。

POINT

- Windows が起動している状態から「マイリカバリ」を始めることもできます
  1. デスクトップの（マイリカバリ）をクリックします。
  2. （閉じる）をクリックします。
  「マイリカバリ」が表示されます。
  3. 「もどす」をクリックします。
  4. 「OK」をクリックします。
  パソコンが再起動します。
  5. 手順 5（→ P.12）に進みます。

4「リカバリ」タブをクリックし、「マイリカバリ」をクリックして、「実行」をクリックします。

5「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。

6「最新のディスクイメージで戻す」をクリックします。
復元するディスクイメージを選ぶ場合は、「ディスクイメージを選ぶ」をクリックして選びます。
ディスクイメージの復元について説明する画面が表示されます。

7「次へ」をクリックします。

8「実行」をクリックします。
ディスクイメージを使ったリカバリが始まります。

9 そのまましばらくお待ちください。
しばらくすると、「復元が完了しました。」と表示されます。

10「OK」をクリックします。
Windows が再起動します。

これで、「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを使ったリカバリが完了しました。

Windows XP のリカバリ

Windows XP が起動しないなどの問題が発生した場合は、Windows XP のリカバリを行います。

Windows XP のリカバリ概要

Windows XP のリカバリとは、Windows XP 用の「リカバリ＆ユーティリティディスク」を使用して、Windows XP をダウングレードしたときの状態に戻すことです。
Windows XP が起動しないなどのトラブルが起こった場合は、リカバリを行うと解決することがあります。
ただし、リカバリを行うと C ドライブのデータはすべて失われるのでご注意ください。D ドライブのデータは残ります。
「マイリカバリ」でディスクイメージを作成している場合は、リカバリを行う前に「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを使ってリカバリすることをお勧めします。それでも問題が解決しない場合は、Windows XP 用の「リカバリ＆ユーティリティディスク」を使用してリカバリを行ってください。

注意事項

- リカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて失われます。必要に応じて事前にバックアップしておいてください。
- 市販のソフトウェアや Windows XP の「ディスクの管理」機能で、ハードディスク領域の「不明なパーティション」と表示されている部分を削除したり変更したりした状態でリカバリを実行しようとすると、C ドライブ以外のデータが削除されてしまうおそれがあります。
  CD や DVD などにハードディスク内のデータをバックアップしたうえで「領域設定」を行い、ハードディスクの領域を正常な状態に戻してからリカバリを実行してください。
  領域の設定方法は、「ハードディスクの領域を設定する」（→ P.13）をご覧ください。
- リカバリを行うときは、必ず AC アダプタを接続してください。
- 周辺機器を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、リカバリを行ってください。
- リカバリを終えてセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- リカバリには時間がかかります。時間に余裕をもって作業してください。

Windows XP のリカバリ手順

1. 「Windows XP の「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する」（→ P.7）の手順 1 〜 5 の操作を行います。
2. 【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。
   「トラブル解決ナビ」が表示されます。
3. 「リカバリ」タブをクリックし、「リカバリの実行」を選んで「実行」をクリックします。
   「マイリカバリをお使いではありませんか」というウィンドウが表示されます。
4. 「実行」をクリックします。
5. 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
   「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。
6. この後は、「Windows XP の「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する」（→ P.7）の手順 11 以降をご覧になり、操作してください。

ハードディスクの領域を設定する

重 要

- この操作をすると、ハードディスク内のデータ（C ドライブ、D ドライブ共に）がすべて削除されます。必要なデータはあらかじめ CD/DVD など別の媒体にバックアップしておいてください。
- ハードディスクの領域を設定するときは、必ずこのマニュアルの手順に従って「トラブル解決ナビ」から行ってください。市販のソフトウェアや Windows XP の「ディスクの管理」機能などでハードディスクの領域を設定しないでください。

1. 「Windows XP の「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する」（→ P.7）の手順 1 〜 5 の操作を行います。
2. 【↑】または【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。
   しばらくすると「トラブル解決ナビ」が表示されます。
3. 「ユーティリティ」タブをクリックします。
4. 「領域設定」を選んで、「実行」をクリックします。
5. 「同意する」を選んで「次へ」をクリックします。
   ハードディスクの領域を設定する画面が表示されます。
6. スライダーを左右にドラッグして、C ドライブと D ドライブの容量を指定し、「実行」をクリックします。
7. 「はい」をクリックします。
   ハードディスクの領域が設定されます。
8. 「完了」をクリックします。

この後は、Windows XP のリカバリを行います。Windows XP のリカバリ手順は、「Windows XP のリカバリ手順」（→ P.13）の手順 3 以降をご覧になり、操作してください。

Windows Vista に戻す

Windows XPへダウングレードしたパソコンは、再びWindows Vista に戻すことができます。

重要

- Windows Vista に戻すときに、ハードディスクの領域が設定し直されます。
  このため、CドライブやDドライブのデータなど、ハードディスク内のすべてのデータが消えてしまいます。
  Windows Vista に戻す前に、必要なデータは必ず CD、DVD、外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

Windows Vista に戻す手順

Windows Vista に戻す作業は、次の手順で行います。

①リカバリ領域を復元する

②リカバリ領域から C ドライブをご購入時の状態に戻す

1. 「Windows XP の「リカバリ＆ユーティリティディスク」を実行する」（→ P.7）の手順 1 ～ 4 の操作を行います。
2. Windows Vista 用の「アプリケーションディスク＆ユーティリティディスク」をセットします。
3. 【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。
4. 「Windows Vista の環境に戻します」と表示されたら、「続行」をクリックします。
   「ご使用上の注意」が表示されます。
5. 内容をよくお読みになり、同意する場合は「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
   「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。
6. 「実行」をクリックします。
   「リカバリ領域の復元に必要な媒体を確認します。」というウィンドウが表示されます。
7. 「リカバリディスク」の 1 枚目をセットして「OK」をクリックします。
   この後は、画面に表示されるメッセージに従って、ディスクをセットして操作してください。
8. 「ハードディスク領域の再設定」の画面が表示されたら、「リカバリ領域を作成して、領域を再設定する」を選択して、「続行」をクリックします。
   この後は、画面に表示されるメッセージに従って、ディスクをセットして操作してください。
9. 「領域設定」の画面が表示されたら、スライダーを左右にドラッグして、C ドライブと D ドライブの容量を指定し、「実行」をクリックします。
10. 「はい」をクリックします。
    ハードディスクの領域が設定されます。
11. 「C ドライブの復元」の画面で、画面右下の「ディスクイメージを選ぶ」をクリックします。
12. 「ご購入時の状態のディスクイメージを戻す」を選択し、「決定」をクリックします。
13. 「ご購入時の状態に戻すときの注意」をよく確認して、「次へ」をクリックします。
14. 「次へ」をクリックします。
15. 「ご購入時の状態に戻す」の画面で、「実行」をクリックします。
    しばらくすると、「C ドライブの復元が完了しました。」と表示されます。
16. 「OK」をクリックします。
    パソコンが再起動します。

これで、C ドライブがご購入時の状態に戻りました。

この後は、Windows のセットアップを行います。『トラブル解決ガイド』→「パソコンを復元する（リカバリ）」→「ご購入時の状態に戻すリカバリ」→「ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」→「STEP5 Windows のセットアップをする」をご覧になり、操作してください。

Memo

FMV-BIBLO MG/D75N, MG/D70N
FMV-BIBLO LOOX R/D70, R/D70N, R/D50N

Windows XP をお使いになる方へ
B6FJ-1751-01-00

発 行 日　2009 年 4 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

Printed in Japan

㋐0903-1

B6FJ175101